

六中図書館だより

調布市立第六中学校

司書 栩野晴美 H29年2月9日 No.9



もうすぐバレンタインデーです。六中図書館では、手作りお菓子の本を展示しています。

春休みは、図書の貸出しはありませんので、気になっている本がある人は、最終貸出し日までに借ります。

3学期の貸出し

最終貸出し日：3月6日（月）

最終返却日：3月10日（金）

新着本

新しい本が入りました。貸出し中の時は、予約しましょう。

913	掟上今日子の挑戦状	西尾維新作	講談社
963	アウシュヴィッツの図書係	アントニオ・G. イトゥルベ著	集英社
E	えほん障害者権利条約	ふじい かつのり作	汐文社
E	杉原千畝と命のビザ 自由への道	ケン・モチヅキ作	汐文社
E	かべ 鉄のカーテンのむこうに育って	ピーター・シス作	BL出版

「掟上今日子の挑戦状」



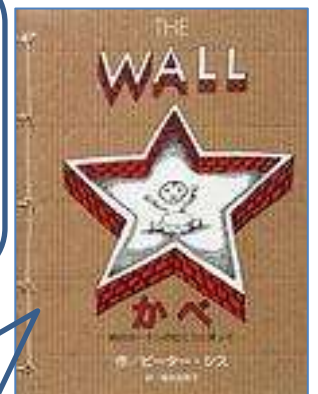
眠るとすべての記憶がなくなる忘却探偵の掟上今日子が不可解な三つの事件に挑みます。

「かべ 鉄のカーテンのむこうに育って」



第二次世界大戦中、ナチスドイツによってユダヤ人はすべて強制収容所に入れられ、きびしい日々をおくっていました。秘密の図書係として、ナチスの目をのがれて、たった8冊の本をかくしもっていた14歳の少女がいました。強制収容所では、本が生きる希望だったのです。本当にあったお話です。

作者のシスが、自分の少年時代のことをふり返った絵本。東西冷戦時代、ベルリンにまだ壁があったころ、シスが育ったチェコスロバキアでは、恐れや疑いがあふれていました。生活のすべてが決められ、監視され、自由がなかったからです。



人を好きになる物語

「記憶屋」

織守きょうや著



ある日突然、自分が思いをよせている人が、自分のことをすっかり忘れてしまったら、どうしますか？大学生の^{りょういち}遼一は、身近な人たちが、ある出来事だけについて記憶をなくしたことに疑問を持ち、それが都市伝説の記憶屋がたのではないかと思い始めます…。切ない物語です。

「だれにも話さなかった祖父のこと」

マイケル・モーパーゴ作 片岡しのぶ訳



マイケルの祖父には、手や顔にひどいやけどやけがのあとがあるため、祖父と会うときは、いつも緊張しうちとけることはありませんでした。ある夏休みに、祖父の住む島に行き、祖父が秘密にしていた若いころの^{そうぜつ}壮絶な体験をぼくにだけうちあけてくれ…。

「小説 君の名は。」

新海誠著



昨年大ヒットした映画の原作です。山奥のいなかに住む女子高校生の^{みつは}三葉は、自分が東京に住む男子高校生になっている夢を見るようになる。そして、東京に住む男子高校生の^{たき}瀧も、女子高校生になっている夢をみる。二人は、夢のなかでおたがいの体に入れかわっていることに気がつき…。

「偽りの王子」

ジェニファー・A・ニールセン作 橋本恵訳



行方不明の王子に似ている孤児^{こじ}が4人集められた。目的は、行方不明の王子になりすまし、ニセの王子として王座を受けつぐこと。そして、ニセの王子が誕生する時、ほかの三人は秘密を守るために殺される。だれを信じていいのか、裏切りの連続のなか、孤児のセージは、イモジェンという少女に出会い心を通わします。今年、3作目^{さんさく}目^めが出版され完結しました。最後まで、結末がわからない冒険物語。

「他人のふたご 「輸出」ベビーたちの奇跡の物語」

アナイス・ボルディエ サマンサ・ファターマン著

羽田詩津子訳



フランスの女性アナイスは、ある日YouTubeで、自分にそっくりなアメリカ人女優のサムをぐうぜん見つけました。他人とはいえ、あまりにもそっくりなので、なんとかSNSで連絡をとってみると、なんとふたりは同じ日に韓国で生まれていたことがわかりました。実は、二人は、同じ母親から生まれたふたごで、別々の国へ養子にだされていたのです。本当にあったお話です。

